

2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務 公募型プロポーザル実施要領

1 目的

本業務は、田原市が令和6年度から実施している、花と食とアートの融合をコンセプトとしたイベント「花咲く暮らしラボ」※の集大成として、2027年国際園芸博覧会において一般参加催事を開催するものである。

本催事を通じて、花を核とした本市の魅力を国内外に発信するとともに、来場者の参加と交流を促進し、市民の機運醸成及び持続可能な花のある暮らしの提案につなげることを目的とする。

本業務の受託者選定にあたっては、価格のみの競争によらず、民間事業者の有する企画力、演出力、運営力及び専門的ノウハウを最大限に活用するため、公募型プロポーザル方式により実施する。

※別添「花咲く暮らしラボ実績報告書」参照

2 事業概要

(1) 業務名

「2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務」

(2) 業務内容

主な業務は次のとおりとし、詳細は「2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務仕様書」のとおりとする。

ア 花き展示、アート作品展示及び来場者参加型プログラムの企画・運営

イ 来場者参加型ワークショップの開催（3日間）（講師調整、運営補助、講師謝金及び材料費を含む）※講師は、市が指定した講師とする

ウ MINAMI Flower Days の開催（1日間）※別添「MINAMI Flower Days 報告書」参照

JA 愛知みなみ提供の花きを展示するための什器制作・運搬及び設置

エ 演出・設備対応（開会あいさつ等に対応した進行台本作成、開会司会、音響機材手配及び音響スタッフ配置）

オ 来場者向けフィンガーフード・ノベルティ等の企画・提供

カ 広報・記録（プレスリリース、印刷物、WEB・SNS、記録写真及び動画の制作等）

キ 機運醸成（2027年国際園芸博覧会への出展に向け、市民の機運醸成を目的として、市内外のイベント等におけるワークショップを実施し、そこで制作した作品を本催事会場において展示すること）

ク 通訳対応（海外来場者対応を想定し、英語を基本とした通訳対応（簡易な案内、説明及び運営補助レベル）を行うこと）

ケ ごみ収集・環境配慮対応

催事開催中に発生するごみの分別回収、一時保管、搬出及び処分を行うとともに、会場ルール及び博覧会の環境配慮方針を順守すること

コ その他、市と協議し必要と認める業務

(3) 業務委託期間

契約期間：令和8年6月下旬から令和9年3月31日まで

【一般参加催事開催】令和9年3月19日から3月28日までのうち原則5日間
（原則設営1日、催事3日、撤去1日）

(4) 提案上限額

20,800千円(消費税等の額を含む。)

※上限額を超える提案は失格とする。

3 参加資格

次に掲げる全ての要件を満たす者。

(1) 団体であること(法人格の有無は問わない。)

(2) 契約期間中、2027年国際園芸博覧会一般参加催事を円滑かつ効果的に開催できる能力を有すること。

(3) 団体又は団体の代表者が次の事項に該当しないこと。

ア 地方自治法施行例第167条の4第2項の規定により、田原市において一般競争入札等の参加を制限されている者

イ 応募書類の提出時まで国税、都道府県税及び市町村税を完納していない者

ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団及びその利益となる活動を行うものその他反社会的行為を行う者

4 公募スケジュール

実施内容	実施時期又は期日
実施要領等の交付期間	令和8年4月3日(金)から令和8年5月1日(金)午後4時30分まで
質疑提出期限	令和8年4月15日(水)午後4時30分まで
質疑回答	令和8年4月22日(水)
企画提案書等提出期限	令和8年5月1日(金)午後4時30分まで
プレゼンテーション審査	令和8年5月19日(火)
審査結果通知	令和8年6月2日(火)

5 募集要領等の交付

(1) 交付期間

令和8年4月3日(金)から令和8年5月1日(金)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く。)の期間

(2) 交付場所及び交付方法

募集要領等の交付は、田原市公式ホームページにおいて行うものとする。

6 質疑の受付及び回答

プロポーザルの提出書類に関する事で質疑がある場合は、以下により質疑書を提出すること。なお、提出期限までに到着しなかった質疑については、いかなる場合であっても回答しない。

(1) 提出書類

【様式第2号】質疑書

(2) 提出期限

令和8年4月15日（水）午後4時30分まで（必着）

(3) 提出方法

田原市農林水産部農政課へ持参又は郵送、電子メールにより提出するものとする。電子メールの場合、件名は、【会社名】「2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務」と記載すること。なお、いずれの場合も確認のため、事前に電話連絡すること。

(4) 回答方法

提出された質疑書については、質問者の名称を伏せた上、令和8年4月22日（水）までに田原市公式ホームページにおいて回答を公表する。

7 企画提案届出書・見積書、企画提案書

- ・企画提案届出書・見積書、企画提案書は、下記表に従い作成し、特に指定がない限り、A4版縦方向、横書き、左綴じとする。企画提案書（第1号～3号）に限り、A3横方向、横書き、左綴じでも可とする。
- ・企画提案届出書・見積書、企画提案書に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- ・企画提案書に目次を付し、適宜ページ番号をつけること。

種類・内容	様式	規格・枚数
■企画提案届出書・見積書		
2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務公募型プロポーザル企画提案届出書	様式第1号	A4版 1枚
見積書及び内訳書 ----- ・見積書は、業務に係る経費の見積書とし、内訳書を添付して提出すること。 ・内訳書は、直接人件費・直接経費・間接費（諸経費・技術経費等）の別と、積算根拠を示した詳細なものとする。	様式第3号	A4版 8枚以内
■企画提案書		
提案内容 ----- ・2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務仕様書に基づき、提案内容を分かりやすく記入すること。	企画資料様式第1-1、1-2、1-3、1-4、1-5号	A4版両面印刷 10枚以内 又は A3横版両面印刷 5枚以内
事業スケジュール ----- ・事業スケジュールを作成すること。	企画資料様式第2号	A4版又はA3横版 3枚以内
同種・類似業務実績と業務の体制 ----- ・令和3年度から令和7年度までの5年間において、各種催事・イベント開催業務に係る受託実績を記載すること。	企画資料様式第3号	A4版両面印刷 3枚以内 又は A3横版両面印刷 2枚以内
業務管理者・主任担当者の資格と実績	企画資料様式第4号	A4版両面印刷

・業務管理者、主任担当者を含めた業務の体制（役割分担、その他担当者の応援体制等）について記載すること。		2枚以内
---	--	------

8 企画提案届出書等及び企画提案書の提出について

(1) 提出物及び提出部数

提出物	部数
2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務企画提案届出書（様式第1号）	正本1部
見積書及び内訳書（様式第3号）	正本1部
企画提案書（企画資料様式第1号、第2号、第3号、第4号）	正本1部、副本10部

(2) 提出期限

令和8年5月1日（金）午後4時30分（必着）

(3) 受付時間

平日の午前9時から午後4時30分まで

(4) 提出方法

田原市農林水産部農政課へ持参又は郵送するものとする。持参の場合は時間調整のため、来庁前日までに電話連絡すること。郵送の場合は必ず簡易書留郵便とし、発送の前に電話連絡すること。

9 評価

(1) 評価体制

2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、選定委員会において実施する。

(2) 評価内容

ア 技術面の審査

「企画提案書」及び「プレゼンテーション」により企画提案内容等を評価する。

イ 価格面の審査

提案見積書により、価格を評価する。

(3) 審査方法

企画提案書に基づく書類審査、プレゼンテーション審査を実施し、評価の合計得点について、最多得点となった最優秀提案者を当該業務の優先交渉権者とする。また、合計得点の最高得点を獲得した企画提案者が複数出た場合は、選定委員会委員の協議により上位を決定する。

なお、企画提案者数が6者以上の場合は、書類審査による事前審査を行い、得点の高い5者を選考してプレゼンテーション審査を実施する。

(4) 評価について

- ・「2027年国際園芸博覧会一般参加催事開催業務公募型プロポーザル評価基準」のとおりとする。
- ・評価結果が以下の基準要件を満たさない者は優先交渉権者としない。

ア 評価項目9「見積金額の適正性」を除いた採点合計の総合計が満点の半分以上の点数を得

た者。

イ 評価項目9「見積金額の適正性」を除き、市が要求する水準に適合していない項目（E評価）が一つもないこと。

10 プレゼンテーションの概要

(1) 日時

令和8年5月19日（火）午前10時から午後5時まで（予定）

(2) 場所

田原市役所 北庁舎3階 300会議室（予定）

(3) 時間

- ・説明20分、質問20分（予定）とする。
- ・詳細な日時及び場所は、後日、提案事業者に別途連絡する。
- ・開始時間前5分間を準備時間、審査終了後5分間を片付時間とする。
- ・質問に関しては20分以内で終了する場合がある。

(4) 注意事項

- ・プレゼンテーションは、既に提出された企画提案書に記載された内容（文章、図、表、画像、スケッチ等）を基に項目順に説明すること。また、既に提出された企画提案書に記載された内容（文章、図、表、画像、スケッチ等）の範囲内であれば、拡大用紙、パネル、プロジェクターを利用した画像を使用して説明することも可能とする。
- ・資料の配布、差替え及び追加は認めない。誤字脱字等がある場合には、プレゼンテーション時に説明すること。
- ・プレゼンテーションの提案事業者側の出席者総数は5名以内とする。
- ・本業務受注決定後のプロジェクト責任者が説明を行うこと。ただし、質疑応答に関してはその限りではない。
- ・パソコン等の機材は田原市で用意しないため、提案事業者が用意し、セッティングすること。ただし、プロジェクター及びスクリーンは田原市で用意する。
- ・機器を持ち込む場合は、準備及び片付時間に留意し、機器のセッティング及び撤収を行うこと。
- ・プレゼンテーションの内容は録音し、答弁は契約内容にも反映するものとする。

11 審査結果の公表

審査結果については、審査終了後、参加者全員に対して書面で通知するとともに、田原市公式ホームページにおいて次の事項を公表する。

(1) 最優秀提案者（優先交渉権者）の名称及び評価ポイント

(2) 全提案事業者の評価点及び評価点内訳（表示はA社、B社とし、提案事業者名を伏せた状態で表示する。） ※評価点順

12 契約の締結等

(1) 提案内容の再確認

審査結果に基づき、優先交渉権者は、全ての提案内容と業務の流れの再確認を行い、承認を得ることとする。

このとき、企画提案書等に虚偽の記載が判明した場合には、契約の締結は行わず、次点候補者と提案内容の再確認を行うこととする。

(2) 契約に向けて

契約に際しては、優先交渉権者の提案内容に誤りがないことを確認後、契約に向けた個別の協議を開始し、その上で契約手続を行う。ただし、提案内容が契約に反映されない場合、また個別協議が整わなかった場合には、次点候補者と個別の協議を開始する。

(3) 契約金額

企画提案書等に記載され、選定で評価した項目については、原則として契約時の仕様に反映するものとする。ただし、本業務の目的達成のため、必要な範囲において、優先交渉権者との協議により契約締結段階において項目を追加、変更及び削除を行うことがある。また、これにより、提案見積額を超えない範囲で、契約内容及び契約額等の調整をすることがある。

(4) 仕様

ア 企画提案書等に記載された項目については、原則として契約時の仕様に反映する。

イ 企画提案書等に記載された内容は、受託後に追加費用を伴わず実施する意思があるものとみなす。

ウ 本業務の目的達成のため、必要な範囲において、個別の協議により契約締結段階において、項目の追加、変更及び削除を行うことがあるため、優先交渉権者の決定をもって、企画提案書等に記載された全内容を承認するものではない。

(5) 契約保証金

受注者は、契約金額の100分の10以上の契約保証金を契約までに納付しなければならない。ただし、田原市財務規則（昭和41年田原町規則第1号）第127条各号のいずれかに該当する場合は、契約保証金を免除することができる。

1.3 支払

本業務に係る経費は、5割程度を前払い金として請求できることとする。残金については、報告書提出後、支払うものとする。

1.4 企画提案の審査及び契約の延期

天災その他やむを得ない理由により、企画提案の審査及び契約を行うことができないときは、延期するものとする。

1.5 企画提案の無効に関する事項

次の項目の一つでも該当するときは、その者の企画提案は無効とする。

- (1) 所定の日時及び場所に企画提案書等を提出しないとき。
- (2) プレゼンテーションを欠席したとき。
- (3) 2以上の企画提案をしたとき。
- (4) 提案に関して談合等の不正行為があったとき。
- (5) 正常な提案の執行を妨げる等の行為をなすおそれがある者又はなした者が提案したとき。
- (6) 提案見積りに関し、著しく不適切な見積りを提示したとき。
- (7) その他指示した事項及び提案に関する条件に違反したとき。

16 その他

- (1) 企画提案書等の作成及び提出並びにプレゼンテーションの参加に関する費用は、全て提案事業者の負担とする。
- (2) スケジュール変更がある場合には、その都度、提案事業者に通知する。
- (3) 本案件に関し、公告後、選定委員会及び評価対象部署と当該案件に関して故意に接触した者又は接触を求めた者（ただし、別の契約案件に伴う調整等により接触する場合は、この限りでない。）は、失格とする。
- (4) 企画提案書等の提出後、辞退する場合は参加辞退届【様式第4号】を田原市農林水産部農政課に提出すること。参加辞退は自由であり、辞退しても以後における不利益な扱いはしない。郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし、発送の前に電話連絡すること。
- (5) 提案事業者が1者のみとなった場合でも、本プロポーザルでの選定は実施する。
- (6) 企画提案書等に含まれる著作物の著作権は、提出した提案事業者に帰属する。ただし、事業の選定結果の公表等において本市が事業に関し必要と認める用途については、企画提案書等の全部又は一部を無償で使用できるものとする。
- (7) 提出された企画提案書等の書類は、返却しない。
- (8) 提出された企画提案書等を受理した後の加筆及び修正は、認めない。
- (9) 提出された企画提案書等の書類は、選定以外の目的のために無断で使用しない。
- (10) 提出された企画提案書等の書類は、選定目的の範囲で複製することがある。
- (11) 本業務に関する資料を本業務企画提案以外の目的で使用すること及び第三者への開示・漏洩することを禁止する。
- (12) 企画提案書等に虚偽の記載をした者に対しては、指名停止の措置を行うことがある。
- (13) 契約締結後であっても、本調達において談合その他の不正行為の事実が発覚した場合は、契約を解除する場合がある。
- (14) 審査内容及び審査経過は、公表しない。

17 企画提案書等の提出先、本件についての問合せ先

田原市 農林水産部 農政課 農政企画係 担当：渡辺 加奈子

〒441-3492（住所不要）

愛知県田原市田原町南番場30番地1（田原市役所北庁舎1階）

電話：0531-23-3517（直通）

：0531-22-1111（代表）

FAX：0531-22-3817

E-mail：nosei@city.tahara.aichi.jp